

授業科目名 <英訳>	系共通科目（基礎現代文化学）（講読III） Basic course of Modern Culture & History (Seminars)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 助教 小川 佐和子					
配当 学年	2回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2018・ 後期	曜時限	水1	授業 形態	講読	使用 言語	日本語
題目	仏書講読										
【授業の概要・目的】											
<p>この授業では、1925年の大作フランス映画『レ・ミゼラブル』（アンリ・フェスクール監督、サイレント映画）の字幕翻訳を行います。大正15年に『噫無情』という邦題で日本封切され、多大な人気を博した作品です。1912年以来、『レ・ミゼラブル』は世界中で何度も映画化されていますが、フェスクール監督版は、数あるレ・ミゼラブル翻案映画のなかでも最もよくヴィクトル・ユーゴーの原作の雰囲気伝え、映画作品としても芸術的な質の高い作品です。5時間に及ぶ長編劇映画の字幕の翻訳を通じて、フランス語の読解力の向上をはかるとともに、文学と映画をめぐるアダプテーションの問題や同時代のフランス映画史・フランス映画理論についての理解も深めていきたいと思ひます。</p>											
【到達目標】											
<p>1) フランス語読解能力を養うとともに、字幕翻訳の基本的な方法を習得する。 2) 文学と映画の比較を通じて、異なる芸術ジャンル間の翻案の問題を考察できるようにする。</p>											
【授業計画と内容】											
<p>第1回 はじめに 第2-5回 フェスクール監督版『レ・ミゼラブル』第1部読解 第6-9回 フェスクール監督版『レ・ミゼラブル』第2部読解 第10-13回 フェスクール監督版『レ・ミゼラブル』第3部読解 第14回 その他の『レ・ミゼラブル』翻案映画の読解 第15回 フィードバックを行う</p> <p>授業の進度が予定とずれる可能性があります。 必要に応じて参考上映の機会を設けます。 フィードバックの方法は授業の中で指示します。</p>											
【履修要件】											
フランス語の初級文法を習得していることが望ましいです。											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
平常点と、授業中の訳読の回数や取り組み方により、到達目標に示した諸点をふまえて評価します。											
【教科書】											
授業の進度に応じてテキストのコピーを配布します。											
----- 系共通科目（基礎現代文化学）（講読III）(2)へ続く -----											

系共通科目（基礎現代文化学）(講読Ⅲ)(2)

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学習（予習・復習）等]

参加者全員が事前にテキストに目を通しておくことを前提とします。

（その他（オフィスアワー等））

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。